

池田高校科学部だより

平成28年度5月号



UNESCO Associated Schools Network
IKEDA High School

今年度の活動が始まりました。

平成28年度、科学部では「**西美濃の生物多様性を守る**」をテーマに活動していきます。まず、5月12日に中川のハリヨ生息数調査・および環境調査を行いました。科学部では昨年より、県から特別にハリヨを実際に捕獲して観察・調査する許可を得ています。今回は、雨の影響と堰をしめたことによる



鮮やかな婚姻色を帯びたオス

による増水の影響で罟が流されたり位置が変わったりして捕獲はうまくいきませんでした。しかし婚姻色（青色の体に鮮やかなオレンジ色の腹部）を帯びたオスの様子や卵を腹部に蓄えたメスがみられ、繁殖が無事に行われていることに安心しました。今後、罟の改良をしていき、環境に左右されない生息数調査の方法を模索していきたいと思えます。

池田町“ハリヨを守る会”の総会に部長と副部長が参加・発表しました。

平成28年5月12日（土）に“ハリヨを守る会”総会が上八幡集落センター二階集会場にて行われ、本科学部からは部長と副部長がお招きに預かり、活動の紹介をさせていただきました。私たちの活動を地元の方々に知っていただく大変



総会の様子

良い機会となり、光栄でした。さらに活動に対する激励とご助言をいただきました。地元の方々と一

体になって活動することが地元の宝であるハリヨを守っていくためには不可欠なことだと考えています。守る会の方々の懇談の中でご要望のありました中川の水質調査についてはすぐにでも始めていきたいと思えます。今後も発表の機会をぜひいただきたいと思えます。



発表する星野部長と竹山副部長

ハリヨを守る会の第1回の活動に参加しました。



活動の様子

(ジグザグダンス)を行う様子も観察でき、春の生命の営みに穏やかな気分になりました。このような状況がこれから何十年先の私たちの子孫も観察できるよう、活動に励んでいきたいと思いました。

平成28年5月13日(日)朝8:00より、“ハリヨを守る会”の今年度1回目の活動が行われ、本科学部からも10名の生徒が参加しました。今回は中川河川敷の除草作業と刈り取った草を堤防の上にあげる作業をしました。今年度1回目の活動ですので、かなりの草があり大変でした。作業の後、ハリヨの稚魚と営巣の様子を観察できました。腹部の膨れたメスに対して、きれいな婚姻色を帯びたオスが求愛ダンス



刈り取った草を堤防に上げます

飛べ！科学部ロケット

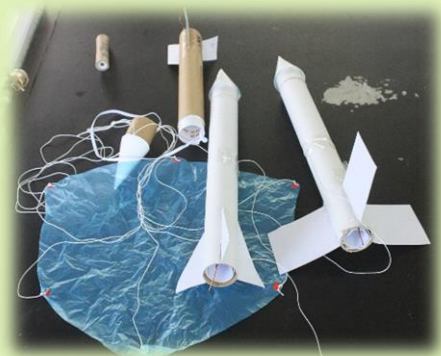
科学部では1年生を主体にモデルロケットの制作を行っています。小学生や中学生の行うペットボトルロケットでは



打ち上げを待ちます

ありません。本物の火薬を用いて打ち上げ、うまくいけば100mも上昇します。ロケットの打ち上げにはバランスが一番大切です。重心の位置を考え、また尾翼により機体の回転を抑えるなど、科学的な検証なしでは上手に上昇しません。さらに、上空

で火薬が逆噴射を行うことによりパラシュートを開き、静かに着陸するという構造になっています。現在は打ち上げのタイミングで雨に見舞われ、まだ打ち上げはしていませんが、打ち上げが成功するとよいと思います。



完成したモデルロケット